

第290回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成24年7月23日（月）午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟放送網本社会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員5人

出席委員

豊口 協	委員長	佐野 晃之	委員
福島 聡	委員	碓井 真史	委員
田村 明子	委員		

会社側出席者

代表取締役会長	前川 磐
代表取締役社長	室川 治久
専務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太
取締役（報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	駒形 正明
報道制作局長兼報道部長	稲田 裕之
編成部長	中川 保彦
制作部長	小木 裕介
合評番組プロデューサー	時田 美昭
事務局	海津 智洋
	紫竹 聡子

## 4 議 題

### 1) 番組合評

「巣立ちの翼 佐渡の空へ ～ トキと人が暮らす未来 ～」

[放送：2012年6月30日（土）10時55分～11時25分]

(説明：番組プロデューサー 時田 美昭)

### 2) 会社報告

① 6月の視聴者の意見。 (報告：番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例の報告等。(報告：番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組は36年ぶりに自然界で雛誕生が確認された佐渡のトキについて「佐渡に住む人の思い、トキと暮らす人の動き」をテーマとして雛誕生を祝うために企画したものであり、60年以上にわたって続けられたトキ保護の歴史と生まれた雛の成長記録を盛り込みながら餌場となるビオトープや田んぼの整備などを通じて「未来を担う子供たちにトキを守る自然環境の整備を託す」という目標のため活動する人たちを中心に制作した番組であることなどを報告した。

●今までトキについて制作された番組をいくつか見てきたが、今回の番組ではとりわけ明るく心温まる、未来に希望が持てるような印象を受けた。

●トキの最初の雛誕生については報道が集中するのは分かるが、

その後の毎日の報道については過熱ぶりが気になっていた。逆に無事に成長し巣立っていけるのか心配になるような過熱報道だと思った。

●トキの放鳥に実際に関わっている人たちは、長い苦勞の末にやっと雛誕生に辿りついたわけで、大変なエネルギーと熱意でやってこられたのだと感じた。

●ビオトープにしても光井さんは「毎日毎日見ているし世話している」と言っていたし、無農薬の田んぼにしても農家の斎藤さんは雑草取りについて「自分に負けたくないから」と言って農薬を撒かないで自ら雑草取りをしている。彼らは自然を大事にしようという意識だけでは駄目なのであり自然を放りっぱなしにしてはトキがいた嘗ての環境に戻るわけではないとも言っていた。「開発」と「保護」とのジレンマをトキと一緒に乗り越えてきた彼らの熱意が伝わってきて感銘を受けた。

●田んぼやビオトープに入って活動する子供たちを見ていると土や虫や様々な生き物と関わっている自然の中の体験が、将来この自然環境の維持を引き継いでいくという意識にきつと繋がっていくのではないかと期待したい気持ちになった。

●野生動物の場合、餌を確保するというのが生命と生活の基本なので、番組でトキの採餌を中心にした自然作りや環境維持の内容になっていたのは良かったと思う。

●潟上水辺の会の光井さんが12年前に鷺を保護して野生に戻したという話は、トキへの光井さんの思いに関連して重要だが、その時の鷺野生復帰の話はもっと深い話があったのではないかと詳しく紹介してほしかった。また、光井さんの普段の人となりなど彼のバックグラウンドも紹介してもらえたらと思った。

●トキの田んぼを守る会の斎藤さんは農家だが、活動の動機になったトキへの彼個人の思いがもう少し具体的に知りたいと思った。

●子供たちが田んぼの草取りで苦勞しているシーンで「自分で全部草取りするんだっただうする？」と聞かれて、これに対して子供の一人が「だったら農薬撒く」と言っているのを紹介しているのは、トキと共生していくことの難しさを子供の活動の中で子供の実直な言葉で表現していて良かった。次の世代へ繋いでいくということが言葉では簡単に言えるが実際は容易なことではなく、重いことだということを番組の全体を通して訴えていると思った。

●トキとの共生を考える時、佐渡エリアだけで考えるのではなく、今やっている取り組みは佐渡・新潟或いは東北アジアなど広い範囲を見据えて取り組んでいくんだというメッセージが込められていたのが良かった。

●トキとの共生についての内容だが、番組の狙っている視聴者ターゲット層がどのあたりなのか良く分からなかった。

●トキの共生について、県民向けのための番組ではなく全国へ発信していくのだという仕掛けと姿勢を番組の中で表現して欲しかった。

●佐渡エリアの発展無くしてトキとの共生成功も有り得ないのではないか。番組時間の問題もあるが、佐渡エリアの経済発展についての掘り下げも内容として欲しかった。

●「鳥は空を飛ぶからみんなでやらなきゃ」という関係者の言葉は説得力があった。

●田んぼを守る人の「こういう農法は昔に戻るのではなくて未

来に向かったの最先端なのだ」というコメントに感銘を受けた。

●トキの自然復帰と人との共生を観光資源として活用しようとする発想もあるようだが、これは誤りだと思っている。

●農業とトキとの関係で農薬の問題がある。佐渡全島で農薬を使わないわけではない点について深く触れていなかったのは残念に思う。

●昔全国に生息していたトキが歴史的に日本にとってどういう鳥であったのかという視点で、新潟だけではなく全国の人が見て理解できるような内容の番組をもうひとつ制作して欲しい。

●60年の歴史と、トキが雛として自然界で生まれたということの繋がりを分かりやすく伝えてくれた番組だと思った。

## 6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月…… 193件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成24年6月25日)から昨日(平成24年7月22日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第289回審議会では「夕方ワイド新潟一番ニュースコーナー『あの興奮から10年』」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧します。

## 8 今回の第 290 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 6月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（6/23, 7/3, 7/13号）

以上